

**【1 Day for Others】**



## 1 Day for Others —「新しい」へ飛びだせ！— 全てはここから — ボランティアセンタースタッフによる総括

今年度で3回目を迎えた1 Day for Others(以下1 Day)は本学の教育理念である“Do for Others”を実践しているイベントの一つとして定着しつつある。ボランティア活動、NPO・NGO、社会起業家、企業による社会貢献活動について学ぶ機会を提供し、1日ボランティア・インターン(実習)を通して社会や地域の仕組み、および社会の課題を知るプログラムである。1年生を中心に大学の外へ一斉に飛び出して、「ボランティア」「NPO・NGO・社会起業家」「企業CSR」の3つのコースの希望プログラムに参加する。一步踏み出すことで、何かが変わる。絆に触れて心の豊かさが醸成される、地域社会への関心が生まれる、社会を見つめる力が培われるなど得るものが大きいことに気づかされる。

今年度は創立150周年の節目にあたり、1 Dayの存在をより多くの学生に知ってもらいたいとの思いで、プログラムの受入先を拡大し、多数の団体や企業の皆さまにご協力をいただいた。結果として多様なプログラムの提供とともに、目標の60プログラムを上回ることができた。しかし、定員数については受入先であるNPOを中心に学生を収容するスペースの確保、およびマンパワーの投入が難しく、その数は抑えられ約800名となり、当日の参加者は約6割に留まった。広報活動も積極的に展開したが、一部の学生から「1 Day for Others」という言葉が、「Do for Others」と重なり、イベントだとは知らずにいたとの声があり考えさせられた。認知度の向上は、年間を通しての課題となることわかる。ただし、参加した学生のアンケート結果(21ページ参照)からはプログラム内容について「大満足」と「ほぼ満足」が95%を占め、全体の満足度は非常に高く、1 Dayを通しての新たな気づきや変化についても、「はい」との回答が約98%を占めたことから、一定の責任は果たせたと感じている。これまでインセンティブとして参加者に配布していた『ヘボンチケット』も役割を終えたと判断し、今年度からは廃止をしたが、目立った混乱もなかった。



1-18 見沼福祉農園



2-19 NPO 法人 野生動物救護獣医師協会

昨年の課題であった「当日のキャンセル」と「参加学生の申し込み方法」の2点について、今年度は「当日のキャンセル」対策として、リーダーと学生が事前に顔合わせをした。そのため、当日の無断キャンセルがほとんどなく運営が円滑となった。リーダーと参加者があらかじめ関係性を作っておくことで一体感も生まれ、当日のプログラムも楽しく取り組めたとの感想が寄せられた。また、2点目の「申し込み方法」についても、学生ポータルサイトであるポートヘボン（以下PH）からの申し込みの過程を一部省略して簡易な手続きにしたが、1年生の参加者が多く、PHの見方や使い方もわからずに窓口に来てくる学生は後を絶たなかった。パソコンスキルも十分ではなく、申し込み方法が複雑であったとの声が再度挙がり、興味を持っていながらエントリーできなかったケースも見受けられ残念な思いであった。次年度に向けては多くの参加を見越して、シンプルで解りやすい新たなシステムの導入を目指し、改善を図っている。

1 Day は社会貢献を学びたい参加学生だけをターゲットとしているのではなく、参加学生を当日引率するリーダー学生の育成にも主眼を置いており、彼らの成長に心を砕いている。プログラム計画書の作成、受入先との交渉および調整などの役割を与えることにより成長できる場を用意している。早い段階で「社会人基礎力」が身につけられる仕組みを今後考えたい。今年度は、昨年度のマナー研修から一歩進めて、リーダーシップ研修（講師 センター長補佐）を実施した。リーダー学生からは「リーダーの役割と一般的なマナーが学べて他にも応用できる点が良かった」「リーダーとしての自信はなく心配だったが、同じ目的をもつ仲間とワークショップで話ができ不安が解消された」との声が挙がった。



リーダーシップ研修の様子



リーダー結成式

新たな制度として1 Dayに参加した者の中から「運営委員」を募集した。運営委員は学生メンバーの組織の中に位置づけており、センター組織図（9ページ参照）のとおり、他の活動のチーフと連携、情報共有をしながらセンターの活動を推進する役割を担う。初年度の運営委員の活動ではリーダー学生の結成式・説明会などの企画立案、キャッチコピー・ちらしの考案を始めとした広報活動を中心に力を

注ぎ、よきリーダー学生の相談役となり活躍してくれた。現在、新しい運営委員も決まり活動はスタートした。多くの学生に参加してもらおうべく張り切って方策を考えている姿は頼もしくもあり、楽しみでもある。

実施当日は事故もなく、順調に計画通りのプログラムが実行できた。今後も本企画を通して社会貢献に関心を持ってもらう機会を提供し、より充実した学生生活を送る一助となることを期待している。

150周年の成果物として「感想文集」を発行し、3年間の振り返りができた。学生にとっての「1 Day」のあるべき姿がこの感想文に凝縮されているので、是非ご覧いただきたい。また、学生の声だけではなく今回は受入先の方々から率直なご意見をいただけたことは有益であった。1 Day を契機に1粒の種が芽吹き、そして根付くことで、いつか社会を変えてくれるのではないかという期待感を多くの方々が寄せられていることに気づく。それゆえ1 Day に対する責任をいま強く感じている。各プログラムが彼らに良い影響をもたらすよう、今後もブラッシュアップしていきたい。さらに、このプログラムが1日で終わることなく、継続的な取り組みへのステップになる好機と捉えたい。

今年度は1 Day に参加した学生がボラチャレ（78ページ参照）に応募して環境問題を解決しようと努力している姿に出会ったり、実施後に多くの学生が受入先と何らかの形でつながっている様子を知り、うれしく思っている。また、学生部主催の「課外講座プロジェクト」に1 Day 実施の企業の名が連ねられたことは喜ばしく、1 Day の効果が大学内でも広がりを見せてよい結果を生み出していることがわかる。学生の育成は、窓口をもつ教学部門共通の課題であり、今後も協力体制を深めていきたい。

この取り組みのプログラムが意義あるものとして、全学的なイベントに発展していくことを願っている。最後になるが、このイベントを開催するにあたり、趣旨に賛同して受け入れてくださった企業、団体の皆さまにこの場を借りてお礼を申し上げたい。

(中山)

開催日程：2013年6月15日（土）を中心に実施。

ただし一部プログラムは以下で実施。

5月12日（日）、26日（木）、6月1日（土）、2日（日）、3日（月）、8日（土）、  
9日（日）12日（水）、13日（木）、14日（金）、16日（日）、17日（月）、19日（水）、  
21日（金）22日（土）、23日（日）、7月3日（水）、7月10日（水）

プログラム数：61

参加者数：参加学生 493名 リーダー学生 74名（予備2名含む） 合計 567名

運営委員 5名

共催：教養教育センター、校友センター、学生部、キャリアセンター、総合支援室

## 参加学生・リーダー学生の声

### 【学生の参加動機】 一部抜粋

#### 1-3 特定非営利活動法人 ことぶき福祉作業所

以前友人の紹介で寿町の炊き出しに参加したことがあり、そのときに学んだことはとても多く、日本の貧困についての問題意識も高まった。その経験から、この活動をもう一度、今度は多くの明学生と一緒に体験し、感じたこと等を話し合ってみたいと思った。  
(法学部 政治学科 2年)

#### 1-7 UN Women よこはま

女性のエンパワーメントとは何かを学び、発展途上国にほんの少しでも貢献したいと思った。  
(国際学部 国際学科 1年)

#### 2-6 公益社団法人 難民起業サポートファンド

日本で生活する難民の現状と課題を知りたい。普段なかなか関わる機会の無い難民に直接話を伺い、問題解決ツールとしてマイクロファイナンスを利用して、どのように社会起業をしているのか理解し、難民に対して自分ができるところを探したい。  
(文学部 英文学科 4年)

#### 2-7 株式会社 アットマークラーニング

不登校や学習に困難のある生徒の親を対象とした親コーチング研修のお手伝いをさせていただくという事で、今後の自分の学びに繋がりたいと思い応募した。  
(心理学部 心理学科 1年)

#### 2-25 特定非営利活動法人 キッズドア

このプログラムを通して一人でも多くの高校生に自分の将来を考えるきっかけを与えることができたらと考えた。自分の高校時代の心情をよく思い出して、彼らと同じ目線で対話することを通して、自分も多くのことを吸収したい。  
(経済学部 経済学科 1年)

#### 2-26 特定非営利活動法人 E T I C .

私の出身地は鳥根県で過疎や少子高齢化などさまざまな問題を抱えている。将来は地元に戻り、彼らのために何かをしたいという目標があるため、地域貢献を担う起業家の活動に興味を持った。  
(国際学部 国際学科 3年)

#### 3-11 武田薬品工業 株式会社

現在の長期医療を受ける子ども達への支援を学び、私自身が子どもの頃1年間入院したことがある経験を活かして、今私たちができるところを闘病している子ども達の視点から真剣に考えたいと思い応募した。  
(文学部 英文学科 2年)

## 【リーダー学生の声】 一部抜粋

<リーダー学生になって、学んだこと>

- ・一つひとつのことに真摯に取り組むことと、「報告・連絡・相談」の大切さ。当たり前にも思われるようなことを確実にこなすことが、信頼に繋がっていくのだと改めて思った。
- ・違った分野で学ぶ人や働く人と話すこと、丁寧に聴いて理解すること。
- ・企業の活動に触れて、自分で行動すること、学生が熱意を示せば変えられることもあると確信した。
- ・プログラムを一から作る難しさ、連絡を取り合う上での意思疎通の難しさを学んだ。
- ・自分の工夫がそのまま形になる楽しさを感じた。
- ・仲間の大切さ。自分の常識は、相手にとっての常識ではないこと。
- ・障がい者、グループホームについて学ぶことができた。
- ・自分の考えるリーダー像を具体的な視点から見直すことができた。
- ・情報伝達の重要性や、自分の役割を考えてどのように行動したらよいのかなど。
- ・企業利益のためだけでなく企業を通して社会に貢献したいという社長さんの思いに心を打たれた。
- ・一つの活動をするにも、これだけの過程があると知ることができたこと。
- ・社会人とのコミュニケーションの仕方。わかりやすい話し方や敬語を実践できた。
- ・人をまとめることの重要さや、責任感を改めて学んだ。

## 【参加学生の声】

《ボランティアコース》

- ・「ひと言」でいうと最高な一日だった。普段見ることができない、あるいは体験することができないような活動ができて、自分の心が潤い、子ども達への関心が高まった。色々な視点で社会の制度や活動を見ることが面白かった。
- ・純粋に楽しかった。炊き出しの手伝いなどまた参加できたらいいなと思った。ただ情報を得るのではなく、実際に行って体感するのは重要なことだと感じた。
- ・座学の授業などで、高齢者ケアの方法等を文献や先生の話等で学んでいたが、今回現場で実際のケアを見ることができ、細かい部分も知ることができてよかった。また、自分がいることで誰かに喜んでもらえるのは本当に嬉しいことだと思った。
- ・今日作業してみて、環境への関心も深まり、進路の幅も広がった。人と関わるのはいいなと思った。
- ・自分の生活とのギャップを強く感じた。ともに汗を流して活動することで、たくさんの仲間ができた。
- ・普段は経験できないプログラムばかりで、どれもやる価値があるものばかりだった。
- ・自分とは違う環境で育っている子ども達について、知識としては知っていたが、ボランティアに行き実際に子ども達と触れ合ってみて、見て、気づいて、感じて、考えることができてよかった。

### 《NPO・NGO・社会起業家コース》

- ・大学が多くの出会いやきっかけのチャンスにあふれていると思えた。また、教職という自分の夢を再確認できた。
- ・“環境”や“反原発”“スローフード”など、今社会が抱えている問題や関心が寄せられていることへの知識が増えた。
- ・イベントにたくさん人が集まることで同じ考えの人や逆にそうでない人にも出会え、今の社会について考えるきっかけをもらえた。また、似た考えの友達にも出会え、これからもつながっていききたい。
- ・NPO、NGOに初めて関われ、今までにない経験をできたので良かった。
- ・バングラデシュなどの途上国で、実際に行動を起こして仕事をしている方の話を聞くことができ、自分の将来の仕事を見つめる機会を得られた。
- ・今まで知らなかった仕事の分野や仕事に対する考え方を聞くことができたので、新たな発見となった。
- ・フェアトレードに対して貧しい国のイメージしかなかったが、国内でもフェアトレードが存在するという事を知ることできて視野が広がった。
- ・夢を持った大人の話聞けるのは、将来の希望につながるいい機会になると思った。
- ・仕事の大変さがよく分かった。ライターという職は文章力やたくさんの技術が必要だということに気づいた。プロの人にアドバイスをもらえたのが嬉しかった。
- ・ショップで扱う商品が、主に被災地や途上国で手作りしたものということを知り、彼らに対する興味が高まった。



株式会社 大川印刷

### 《企業CSRコース》

- ・実際のデータや職場の方の“現場”を見ることができて、とてもよい機会だった。
  - ・プレゼンテーションのやり方、他の人との協力を改めて学べた。また、自らの積極性の無さという欠点に気付けた。
- ・新しい人との出会い、みんなで一つのものを作る難しさ、プランが完成したときの達成感や喜び、日本以外の国の知識の取得など、本当に多くの事を感じることができた。
  - ・普段なら絶対関わることのない学部、先輩、後輩とのチームワーク戦で新たな出会いとして素晴らしい場だと思った。
  - ・会社が力を入れていることや持っている技術の評価を知ることができ、企業に興味を持てた。環境やマーケティングについて幅広く説明していただき、もっと色々なことを知りたいと思った。

## 協力企業・団体からの感想

[株式会社イオンフォレスト (THE BODY SHOP) / マーケティング本部 トレーニング部 山崎綾子]

<ハンドトリートメントで気づく新しい価値観>

ザ・ボディショップは、1 Day for Others がスタートした 2011 年から趣旨に賛同し、学生を受け入れてきた。ザ・ボディショップで創業時から推奨している「コミュニティ活動」は、就業時間を利用してボランティア活動をすることができる制度で、学生のみなさんには社員が普段その制度を利用して行っている活動を体験してもらい、多様な人々との交流を通した「ボランティア経験」を持ち帰ってもらえるプログラムにしたいと考えている。

本プログラムには 11 名の学生が参加し、事前のレクチャーで動物、環境保護や人権尊重、セルフエスティーム、コミュニティ・フェアトレードといったザ・ボディショップのバリューズ（価値観）やなりたちをお話したのち、ハンドトリートメントの講習を行った。その後、毎月社員が訪問している特別養護老人ホームにて、利用者へのハンドトリートメント（保湿クリームを使った手のマッサージ）を体験してもらった。

学生の皆さんのフレッシュさや元気さは、それだけでお年寄りに喜ばれていた。教わったばかりで初めてお会いする人の手をマッサージすることは緊張もしたと思うが、香りと手のぬくもりでお互い次第にリラックスでき、利用者の方も学生と聞いて喜んで身の上話をしてくれたり、会話が弾んでいた。帰り道、歩きながら「ああだった、こうだった」と感想を言い合う様子を見て、体験をシェアしたくなるのも、このボランティアならではの感覚だ。

今回参加した学生は、将来の職業として福祉の分野を考えていたり、ボランティア活動がライフスタイルの一部となっている方が多かった。そんな中、自分たちの持つスキルやリソースを活かして地域社会に参加して貢献しようとする、企業のボランティア活動を体験したことで、働く企業を選ぶことや、価値判断の基準にも繋がったら嬉しく思う。

プログラムに参加した学生には、今後も色々な事に興味を持ち、実際に飛び込んで体験し、さまざまな人と交流することを期待している。ザ・ボディショップの創業者アニータ・ロディックは、“Do something, do anything, just do something.”（何かしなさい。何でもいいから。とにかく何かしなさい。）という言葉を残しており、一度しかない人生を素晴らしく生きることが大切と考えていた。「素晴らしく生きる」ことが何かは人それぞれ異なると思うが、なんでもいいから行動してみること、例えばボランティア活動で他の誰かのために何かをすることは、そのための重要な要素になることをわかっていたのだろう。

自分の行動によって相手の役に立ち、何かに変化することを目にするすることで、セルフエスティームを高め、自分も変わっていくことができる。社会を構成する一人ひとりが良い変化をしていければ、社会

全体も良くなると信じ、将来をつくっていく学生に期待したい。

また来年以降も、多くの学生が1 Day for Othersに参加し、さまざまな体験をして仲間とシェアをし、よい変化の連鎖が生まれることを願っている。

[このはな草子 / 代表 成瀬久美]

<1 Day から生まれた物語>

私たちこのはな草子は、東日本大震災を機に発足した非営利の団体である。従来の紙芝居を読み聞かせるほか、現代美術作家やサウンドセラピストとともに制作した、子どもが主役として参加する“総合型オリジナル紙芝居”を上演し続け、現時点で約50ヶ所を訪問してきた。

今回の1 Day for Othersで掲げた目標は「新作紙芝居制作に向けて、原案を完成させること」。そこで午前は私たちの活動主旨や世界観を学生の皆さんに理解してもらうための紙芝居上演イベントを開催し、午後はプレストワークショップを行った。プレストでは【1：“話の力”子どもが主役として参加、体を動かすことができる内容を作ること。2：“音の力”サウンドセラピー楽器やピアノ等楽器を使うこと。3：“絵の力”話の深みをもたらず絵をどのように表現できるか考えること】という3要素を踏まえたうえで、子どもにとって真の喜びや楽しさがある紙芝居の構成づくりをワールドカフェ形式で行ったのだが・・・参加された皆さんの素直なこと！

午前は“子どもたちと一緒に、ピアノの音に合わせて飛び跳ねる”ことや“挨拶をハキハキする”ことを恥ずかしがったり、自分の役割が分からず立ち尽くしてしまったりする子もいたが、このプログラムを選んでくれただけあって、子ども達と戯れたりする時は笑顔で楽しく接していたし、午後からは「難しい～」などと悩みながら持参した絵本を読み、必死にアイデアを考えていたと思いきや、気づくと私たちスタッフがあっと驚く様なキーワードを出してきて、最終的にはファンタジー要素たっぷりの原案が幾つもできあがっていたのだった。

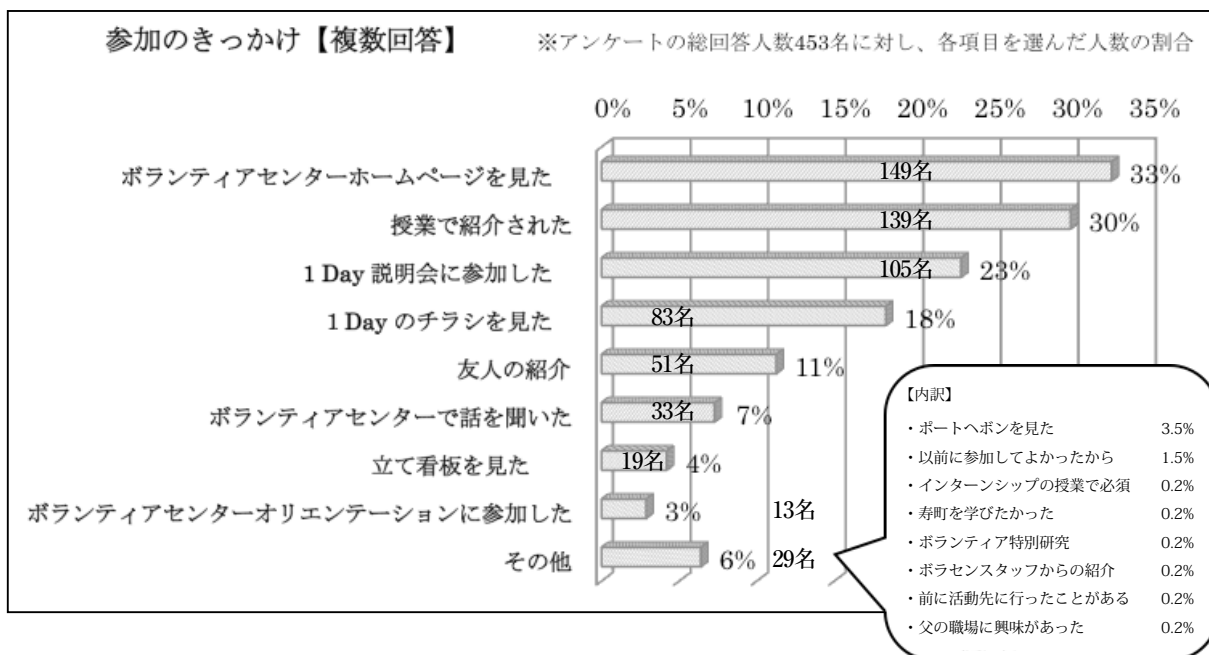
結果どの作品も甲乙つけがたい内容となり、2ヶ月後にはその中の1つを選んで「きらきら☆ぐるぐる」という作品を制作することができた。訪問先の子も達が幼稚園／保育所の砂場で遊んでいるうちに光る砂を見つけ、その砂に導かれるまま砂漠や宇宙や恐竜時代にタイムトラベルしてしまう物語である。この物語を通じて参加する子ども達の創造性を育み、表現力を養い、仲間との共感力を高めることができる。1 Day for Others自体は1日のイベントだが、大切なメッセージをもつこの作品は、永遠に残り続ける。是非参加された皆さんには原案に自分も関わったのだという気持ちを忘れずにいて欲しいし、ボランティア活動を通じて笑顔の輪が広がるということ、作品が形になる喜び、それが大勢の人たちに幸せの波及をもたらせること（それは被災地と呼ばれる場所においても同じで、フラットに笑顔の輪が広がる事が大切）を感じてもらいたい。同時に、紙芝居がもつアナログコミュニケーションの力を自分の生活の場でも生かしてもらえたらと願っている。来年以降、1 Day for Othersで遠征が可能になることがあれば、1日東北ツアーも企画したいと思う。

## 参加学生アンケート・参加学生の結果

〔参加学生アンケート〕

＜アンケート回答人数 / 参加人数＞…453/493名（リーダー学生を除く） アンケート回答率 92%

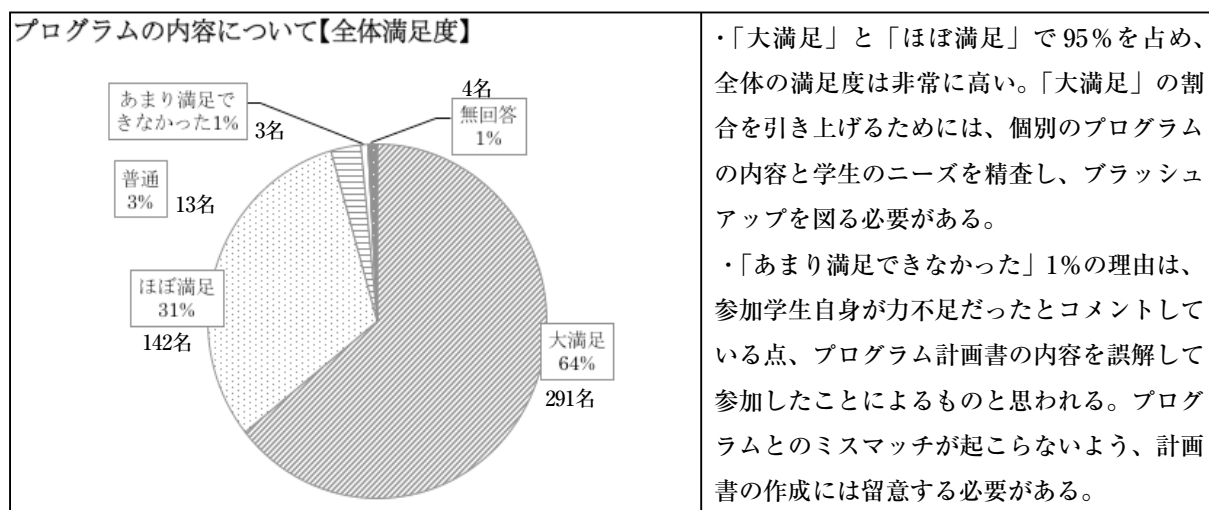
### 1. 参加のきっかけ



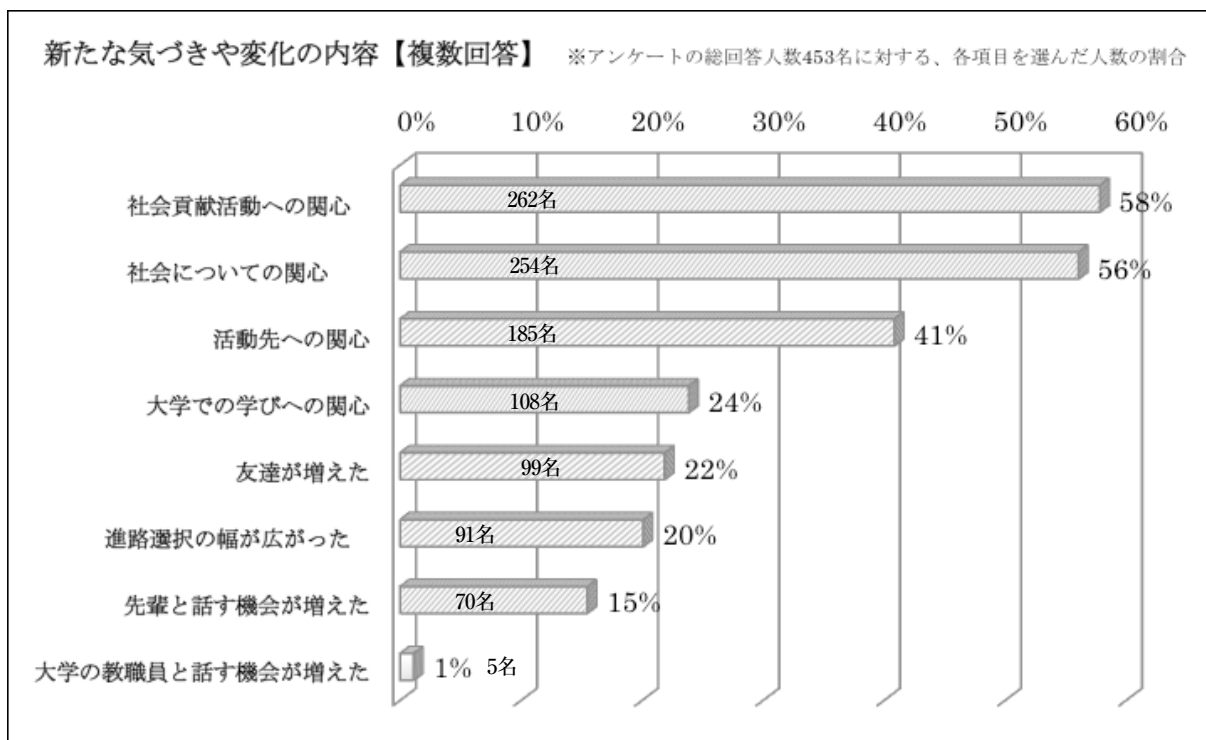
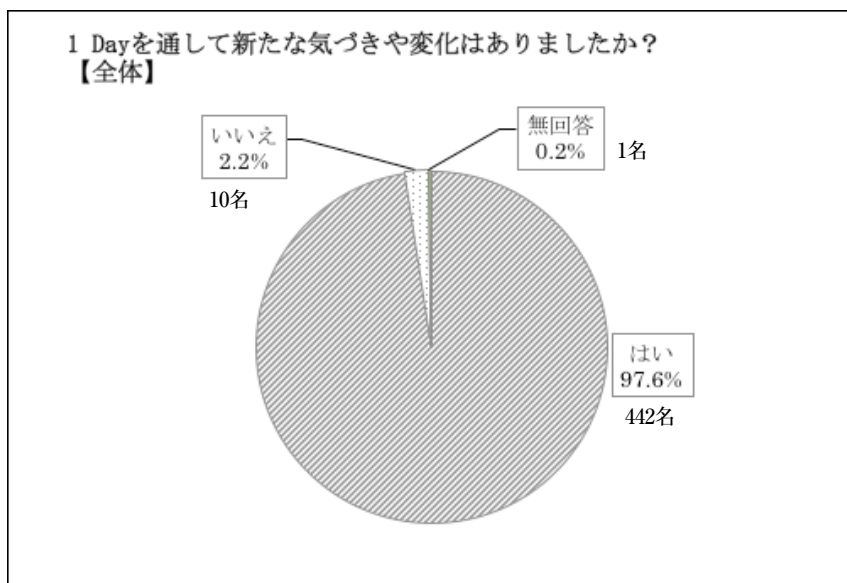
- ・「ボランティアセンターホームページ（HP）を見て」参加した学生が3割を超える。
- ・「授業で紹介されて」参加した学生が3割を占める。
- ・「1 Day 説明会に参加した」ことをきっかけに参加した学生が、2割程度（約100名）いる。
- ・「1 Day のチラシを見て」参加した学生が2割弱いる。
- ・「友人の紹介」をきっかけに参加した学生は1割程度いる。

広報活動に力をいれて露出度を高めることで参加者が増える可能性が十分にあることがうかがえる。

### 2. プログラムの内容について



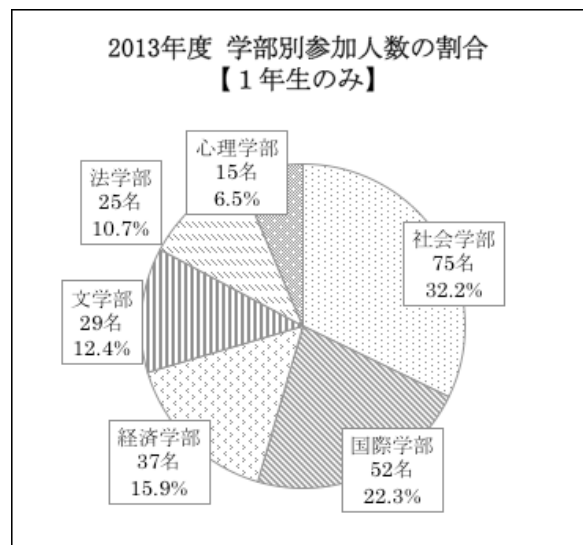
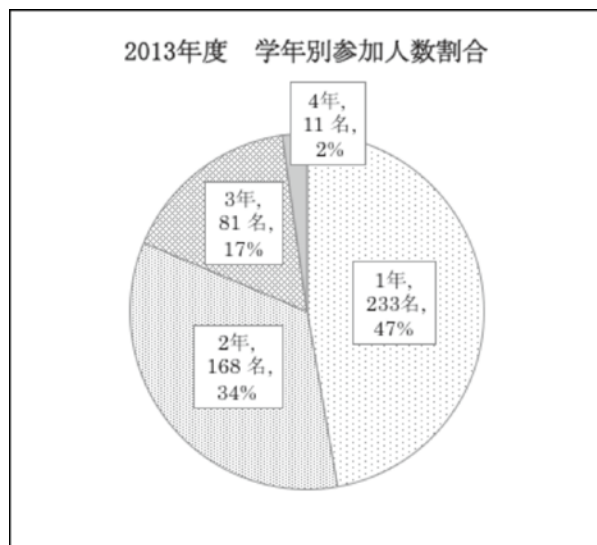
### 3. 1 Day for Others を通して、新たな気づきや変化はありましたか？



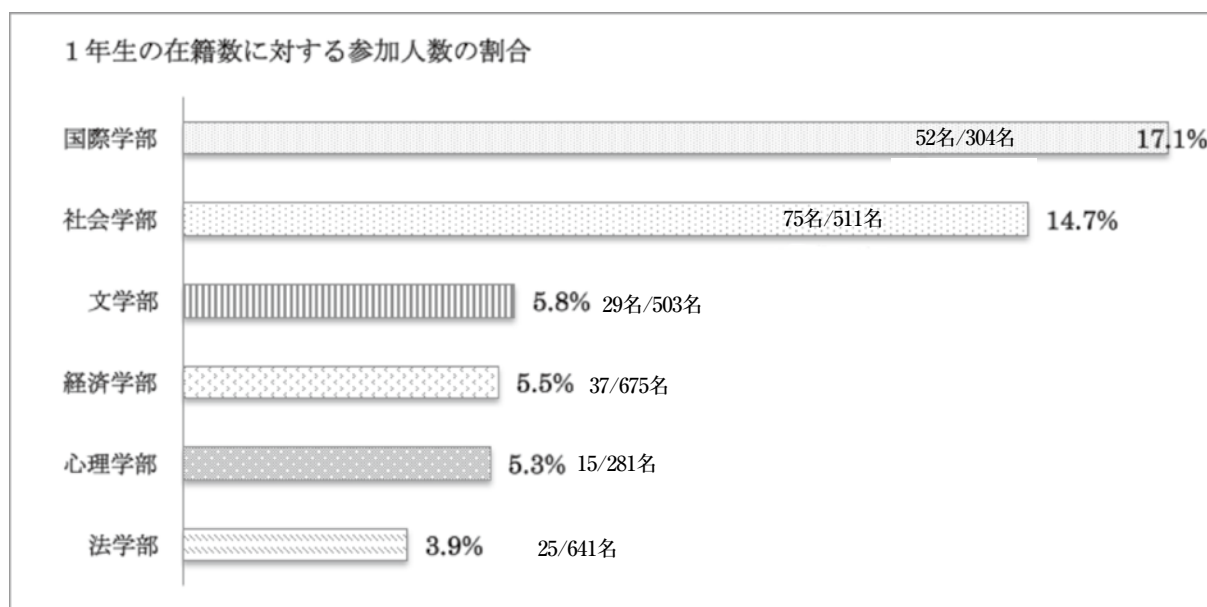
- ・「はい」との回答が約98%を占めることから、1 Day のプログラムが、多くの学生に、新たな気づきや変化を与える効果があることが分かる。
- ・新たな気づきや変化の内容としては、「社会貢献への関心」58%、「社会についての関心」56%、「活動先への関心」41% の割合が高く、1 Day に参加することで、学生が社会やさまざまな企業・NPO等の団体の活動に関心を持ち、社会貢献への意欲を高める効果があると言える。
- ・また、「大学での学びへの関心」24%、「友達が増えた」22%、「先輩と話す機会が増えた」15% という結果から、特に新生生にとっては、入学後の早い段階で、大学での学習意欲や学生同士の繋がりを作るという一定の役割を果たしていると言える。

〔参加学生の結果〕

・参加学生数 …493名      ・リーダー学生数 …74名



- ・学年別の参加者割合は例年ほぼ変わりはない。
- ・新生アンケートの結果から、「1 Day for Others」に参加してみようと思うか? について「参加する (5.5%)」、「可能なら参加したい (32.1%)」と参加に好意的な回答者は 37.6%であったが、実際参加した人数は 10%に満たないことがわかる。新生にとっての 1 Day が身近な存在として受け止められる広報活動、参加しやすい仕組みを考える必要がある。



## 2013 年度プログラムリスト

### 1. ボランティア コース

企業および団体名	プログラム名	実施日	募集人数
戸塚区地域子育て支援拠点 とっとの芽	とっとの芽～子どもと遊ぼう！～	6/8 6/15	4名 4名
藤棚新聞	1 Day for 藤棚商店街～お祭りを通して、地域の方と交流をしよう！！	5/12	15名
特定非営利活動法人 ことぶき福祉作業所	トヤ街に暮らす人とふれあおう！	6/14	10名
横浜YMCA ワークサポーター「パン工房 Ange」	地域・福祉ボランティア～YMCA ワークサポーターセンターのお手伝い	6/15	8名
宗教法人 善了寺	アイサーピス 廻る家とともに	6/15	4名
大木農園株式会社	大木農園～戸塚で農作業体験！～	6/23	19名
UN Women よこはま	戸塚で世界を感じよう！	6/15	6名
ことぶき学童保育	寿町での学童保育を通して学ぶ	6/15	10名
世田谷区立特別養護老人ホーム 芦花ホーム	1 day for others～老人ホームで1日社会体験～	6/15	5名
神奈川県ユニセフ協会	ユニセフ・ラブウォーク	5/26	20名
NPO 法人 地域生活センター	障がい者グループホームでのボランティア体験	6/15	9名
特定非営利活動法人 風の子会	障がい者の方々と関わろう	6/12	8名
株式会社 キッズベースキャンプ (港区学童)	民間保育を知ろう！	6/15	9名
港区立高輪いきいきプラザ	♪歌でコミュニケーション♪ @ 高輪いきいきプラザ	6/12	4名
高津区市民健康の森を育てる会	川崎市民の憩いの場「高津区市民健康の森」の里山環境整備活動に参加しよう！！	6/15	19名
久地円筒分水サポータークラブ	国・登録有形文化財の円筒分水、広場の美化活動に参加しよう！	7/10	10名
江東区 福祉部 塩浜福祉園	社会福祉施設を見学、体験してみよう！ ～江東区を例とした知的障がい者への福祉の取り組み～	6/19	20名
見沼たんぼ福祉農園	おいでよ、見沼たんぼ福祉農園！～土づくりは人づくり～	6/16	14名
社会福祉法人 社の会 (中野地域ケアプラザ)	グループホームで支援者体験	6/12	9名
竹尾企画 (国際学部)	明治学院大学キャンパスツアー (+梅のコンポート作り)	6/8	9名

### 2. NPO,NGO 社会起業家 コース

企業および団体名	プログラム名	実施日	募集人数
株式会社ユーズ	エコ活動がビジネスに!? 天ぶら油で世界を変えるビジネスに触れよう！	6/15	5名
NPO 法人 Café dela Terra	夏至 Candle Night2013	6/21	15名
特定非営利活動法人 NPO カタリバ	キャリア学習プログラム「カタリ場」を体験しよう	6/15	20名
特定非営利活動法人 ビースウインズ・ジャパン	NPO 体験 「PWJ」で広げる自分の世界観	6/15	20名
株式会社 オーク	環境WEBマガジン ECOLOCO 織維リサイクルイベントの体験ルポを通じたWEB編集作業・情報発信活動	6/15	4名
公益社団法人 難民起業サポーターファンド	マイクروفアインランスで、難民の社会起業(ソーシャルビジネス)を支援!	6/8	11名
株式会社アットマーク・ラーニング	親コーチング研修-親子が向き合うために-	6/15	20名
特定非営利活動法人 国際協力 NGO センター (JANIC)	知ろう×考えよう×つながろう～あなたが世界のためにできること～	6/15	18名
国際青年環境 NGO A SEED JAPAN	エコライフフェア 2013	6/1 6/2	5名 5名

10	株式会社マザーハウス	あなたにもできる国際協力	6/15	20名
11	株式会社オルタナ	身近なモノ・コトから扉を見つけよう！	6/22	12名
12	株式会社スワン	障がい者とともに働くことを考えよう！	6/3	5名
13	日本赤十字社 神奈川支部	LOVE in Action ～チャレンジ！あなたの献血～	6/9	20名
14	特定非営利活動法人 地球市民 ACT かながわ/TPAK	自分のできる「国際協力」を始めよう！ ～(特活)地球市民ACTかながわ/TPAKでフェアトレード商品の販売と事務作業を体験～	6/8,15 6/9,15	3名 3名
15	NPO法人ワークーズ・コレクティブパレット	乳幼児家族とふれあい、子育ての現場を知ろう！	6/15	5名
16	とつか区民活動センター	とつか区民活動センター活性プロジェクト	6/15	5名
17	公益社団法人 ジュニア・アチーブメント日本	品川スチューデント・シテイ	6/8	13名
18	特定非営利活動法人 国際交流ハーティ港南台	国際交流！世界は友達！子供たちと遊ぼう！世界の料理を作ろう！	6/15	11名
19	NPO法人 野生動物救護獣医師協会 (WRV)	IDay for Animals ～野生動物ボランティア体験～	6/15	5名
20	第3世界ショップ/株式会社プレス・オールドターナーティブ	第3世界ショップ～フェアトレードを通して人との繋がりを感じよう～	6/15	5名
21	このはな草子	福島の子どもたちにも大人気！ 紙芝居であそぼう。	6/15	15名
22	株式会社 ソシオエンジン・アソシエイツ なつかしい未来創造 株式会社	一日ソーシャルアントレプレナー体験 【陸前高田・箱根山 新事業を企画する】	6/15	8名
23	NPO法人 フリー・ザ・チルドレン・ジャパン (FTCJ)	イベントボランティア～2013 みんなちがってみんないい～	5/26	5名
24	株式会社 大地を守る会	キャンドルナイト	6/21	9名
25	特定非営利活動法人 キッズドア	高校生のキャリア支援をしよう！	6/12	15名
26	特定非営利活動法人 ETIC.	「働く」とは？～横浜地域貢献型経営者・起業家訪問～	6/12	15名
27	国際文化青年交換連盟日本委員会 (ICYE JAPAN)	アフリカのタベ(NGO主催の異文化セミナー)	6/15	10名
28	Y's farm	「いただきます」を体感しよう！無農薬の田んぼ体験	6/15	14名
29	一般財団法人 WESLEY FOUNDATION	世界の情勢を知ろう ～シリアの実態～ in WESLEY FOUNDATION	6/15	40名

### 3. 企業 CSR コース

企業および団体名	プログラム名	実施日	募集人数
1 日野ハーモニー 株式会社	日野ハーモニーで学ぶ ・ 企業でしか学べない障がい者雇用の現場 ・	6/12	4名
2 株式会社 ウィニングコーポレーション	働くことは生きること ～障がい者と共に働く企業の見学～	6/13 6/14	4名 4名
3 株式会社 資生堂	資生堂 心を豊かにするCSR活動体験	6/15	13名
4 株式会社 エイチ・アイ・エス	スタディツアーのプランニングとプレゼン	6/15	50名
5 株式会社 大川印刷	進化するCSR～『共有価値の創造』へ向かう地域企業の挑戦	6/17	13名
6 NEC (日本電気 株式会社)	グローバルリーダーディングカンパニー NEC のCSRを学ぼう！	7/3	25名
7 株式会社 アイエスエフネット	【ボランティアをしながら考える】障がい者雇用について社長に聞いてみよう！	6/13	40名
8 千代田化工建設 株式会社	千代田グループCSR活動紹介・グループディスカッション「企業と大学の共同の可能性」	6/19	20名
9 石井造園 株式会社	国内唯一のCSR報告会を組み立てよう	6/22	5名
10 ソニーマーケティング 株式会社	One day for the next generation by SONY	6/19	30名
11 武田薬品工業 株式会社	長期医療を受けている子どもへの支援について知り、考えよう！	6/19	19名
12 株式会社 イオンフォレスト (THE BODY SHOP)	ハンドマッサージで心をつなぐ～高齢者とのケア交流～	6/19	12名